

別府市就学前教育・保育  
施設向けアンケート調査結果報告書

令和5年8月

別 府 市

別府市教育委員会



# 目次

第1章 調査の概要 .....	1
1 調査の目的 .....	2
2 調査の実施要領.....	2
3 回答数.....	2
4 調査結果利用上の注意.....	3
5 公表内容について .....	3
第2章 調査結果 .....	5
1 貴施設の就学前教育・保育の実施状況について.....	6
2 就学前教育・保育に関する施策について .....	8
3 別府市の就学前教育・保育施策に対するご意見・ご要望.....	15



---

---

# 第1章 調査の概要

---

---

## 1 調査の目的

本アンケート調査は、就学前教育・保育の量と質の確保のため、就学前教育・保育施設の将来像について具体的方策等を示す「別府市就学前教育・保育ビジョン」の策定に向け、施設運営者意見を収集するために実施したものです。調査結果は計画策定や施策検討に利用していきます。

## 2 調査の実施要領

### (1)調査対象者

市内すべての幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設(以下「就学前教育・保育施設」という。)

### (2)調査方法及び調査期間

- ・ 調査方法:メールによる回答
- ・ 調査期間:令和5年7月24日～令和5年8月8日

### (3)調査項目

- ・ 施設の就学前教育・保育の実施状況等
- ・ 就学前教育・保育に関する施策について

## 3 回答数

対象数	有効回答数	有効回答率
64 施設	62施設	96.88%

## 4 調査結果利用上の注意

- ・ 回答率は百分比の小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。
- ・ 2つ以上の回答を要する(複数回答)質問の場合、選択肢ごとの割合を合計すると 100%を超える場合があります。
- ・ 2つ以上の回答を要する(複数回答)質問の場合、選択肢ごとの回答数を合計すると回答施設数を超える場合があります。
- ・ 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- ・ 数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。

## 5 公表内容について

その他回答欄や自由記述については類似の回答は集約して掲載しております。

また、今回のアンケートの趣旨とは異なるご意見等については省略または修正している場合がありますが、頂いたご意見は関係各課と共有の上、今後の市政に反映させていただきます。



---

---

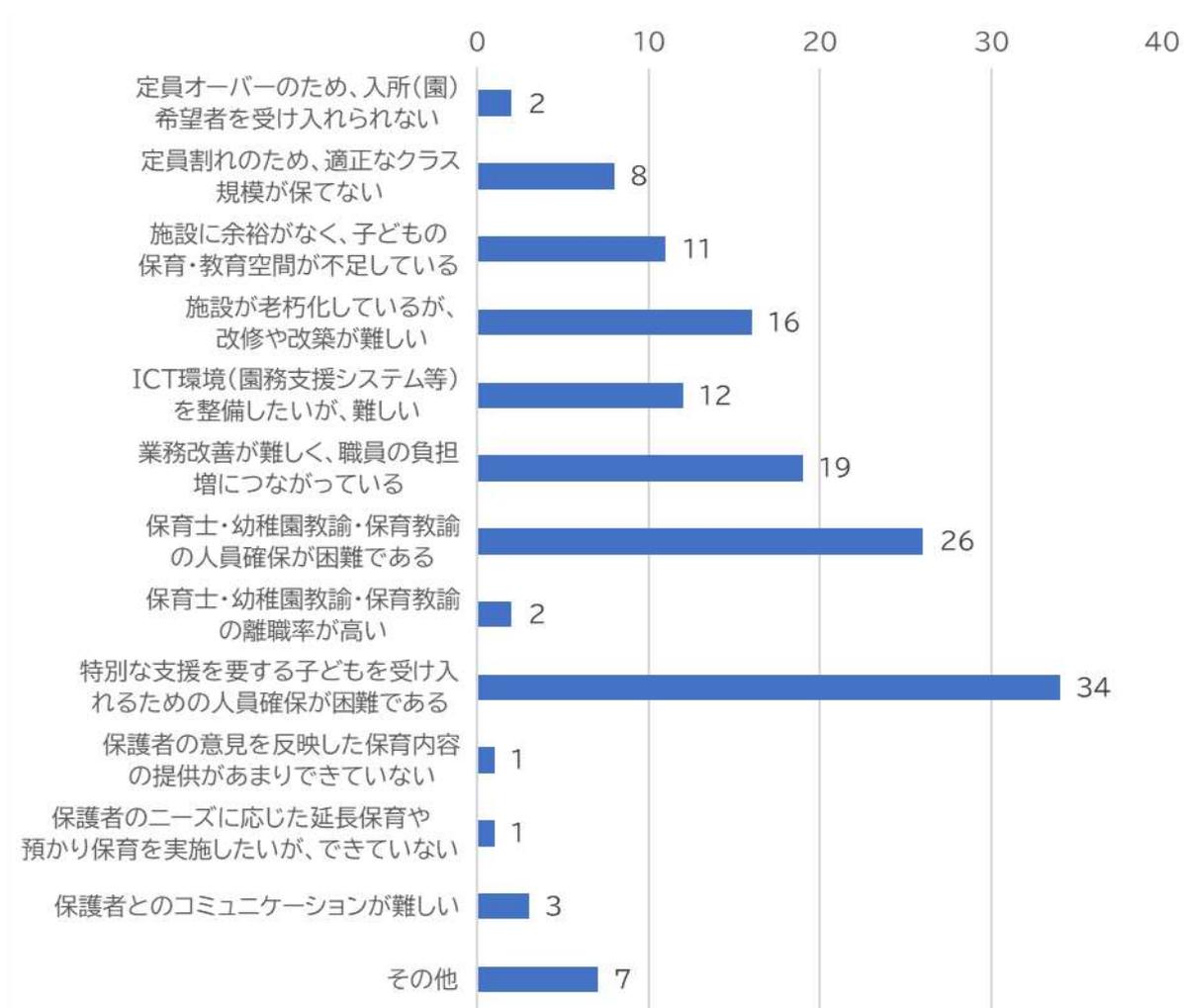
## 第2章 調査結果

---

---

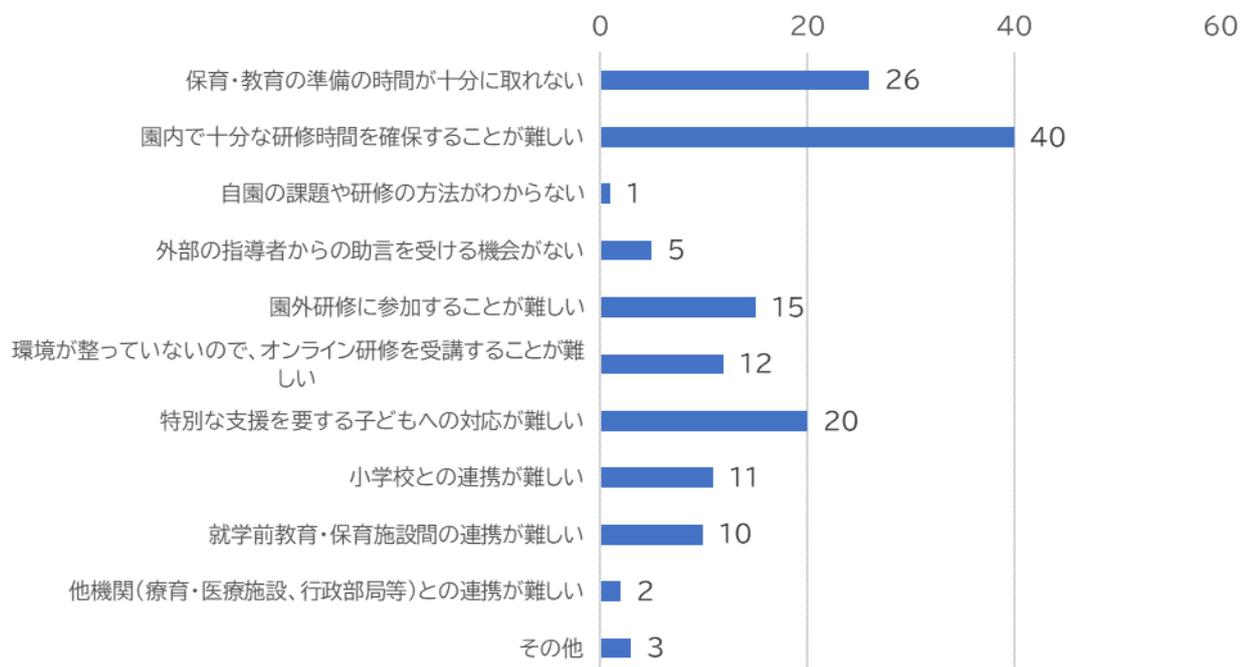
# 1 貴施設の就学前教育・保育の実施状況等について

## (1) 施設の運営上、特に課題となっていること(3つまで回答可)



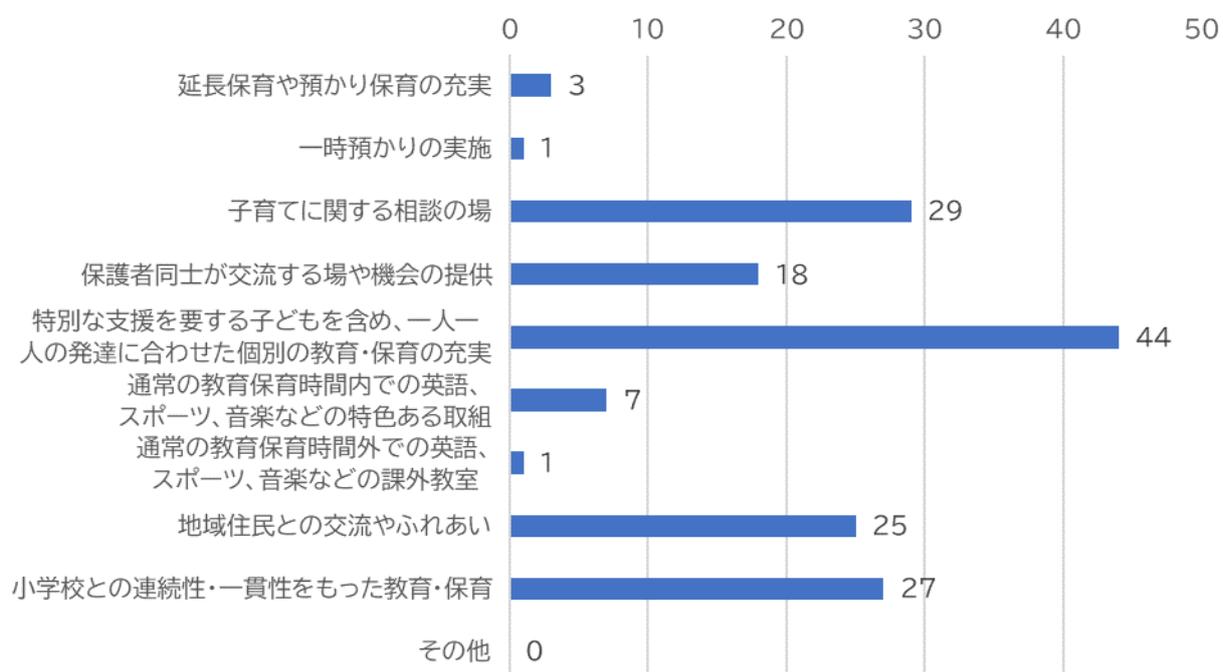
その他の理由
職員が増えるとより一人一人に目が行き届く。
児童相談所等が介入する家庭等、支援の必要な子どもに対して複数職員を配置し対応している。
手厚い保育をするため基準以上に保育士を配置しているので運営費が不足する。
電化製品の耐用年数が短い。
子育て中の保育士が正規職員として働くのが物理的に難しい状況がある。
発達に課題のある子どもが在籍しており、提供したい保育を実施するにはそこに人手が取られてしまう。

(2) 教育・保育の質の向上のために、特に課題となっていること(3つまで回答可)



その他の理由
園舎を増改築しているので、その環境での工夫をしながら保育を行っている。
年長クラスがないため、小学校との連携が難しい。
個人での研修はできるが、個人差がある。

(3) 通常の教育・保育に加え、施設において今後充実していきたい役割や機能(3つまで回答可)



## 2 就学前教育・保育に関する施策について

### (1)－1 1学級における適正園児数(各年齢の理想的な園児集団)について(単数回答)

	3歳児	4歳児	5歳児
10人以下	16	6	12
10人～20人	44	45	22
20人～30人	1	10	26
30人以上	0	0	0

…各年齢において最も多かった回答

### (1)－2 各年齢において『1学級における適正園児数』と答えた理由(3つまで回答可)

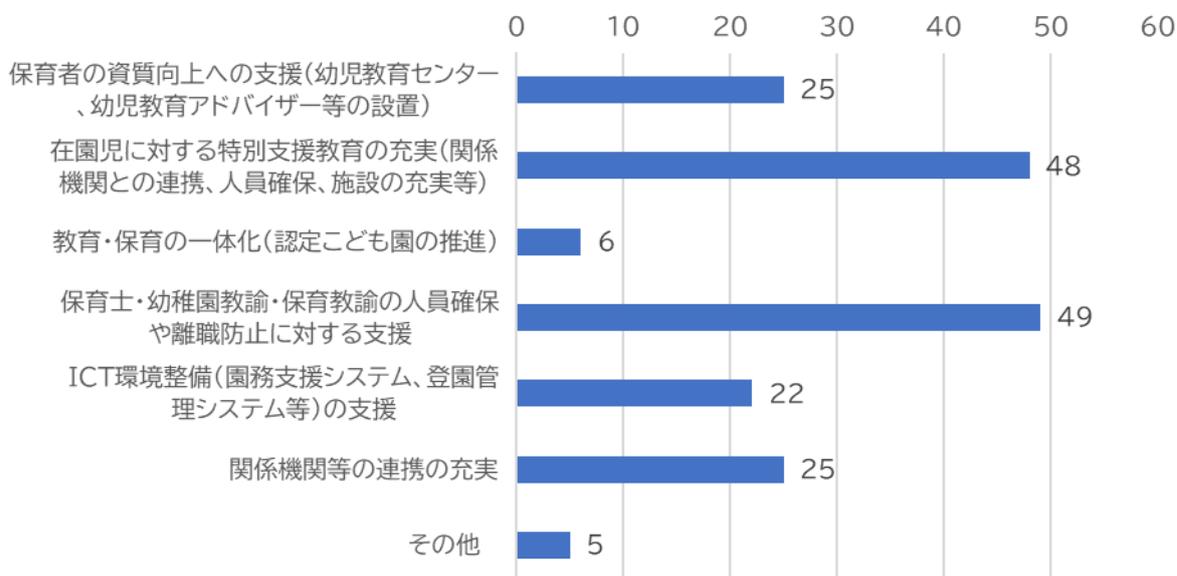
『適正園児数』として選択した理由	3歳児	4歳児	5歳児
先生の目が届きやすい(個に応じることができる)	55	42	30
特別な支援や配慮が必要な園児に、個別の支援がしやすい	36	35	25
担任の先生と関わりが深くなる	28	22	15
園の施設・設備から考えて、このくらいの人数がちょうどよい	19	19	17
たくさんの友達と遊ぶことができる	13	20	25
友達同士の関わりが深くなる	16	25	35
小学校に入学した時に仲良しの友達が増える	3	5	11
保護者同士のつながりが深くなる	5	5	3
年齢や発達を考慮した時にちょうどよい	33	31	31
法律で決められた人数だから	1	0	1

…回答数の多い項目の上位2つ

#### 自由記述(上記以外で適正園児数として選択した理由)

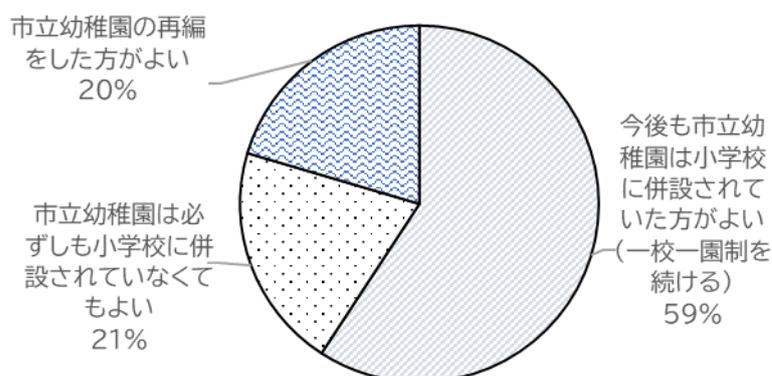
1学級としては3・4・5歳児ともに10～20人が良い。
様々な準備があるので、10～20人で良い。
4・5歳児学級の場合は、幼稚園や小学校の1クラスの人数とあまり変わらないほうが良い。
認定こども園であれば、5歳児の適正園児数が多いほうが良い。
5歳児では5人程度のグループが複数あり、遊びや活動で互いに刺激し合える人数として20人から30人の園児数が必要。
園児数に限らず、複数での担任の配置が必要。
上記の人数は複数担任を想定。

(2) 別府市において優先的に実施すべきと考える就学前教育・保育に関する施策について(あてはまるもの全てを回答可)



その他の理由
幼児教育アドバイザーを各園に長期派遣し、資質向上のアドバイス等ができるが良い。
1歳児で手厚く丁寧な保育がされることが重要であるので、1歳児の保育士配置基準を子ども6人に保育士1人から、子ども5人に対して保育士1人することから始めてほしい。
個々の休み、休園日、園職員全員での平日昼間の研修時間の確保。
産休・育休の職員の補充。
観光地ならではの多様化した働き方の支援や、ひとり親への支援。

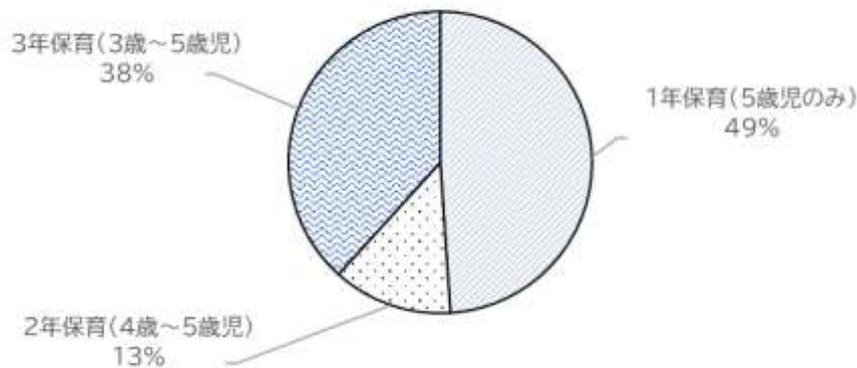
(3)-1 別府市立幼稚園の適正配置について(単数回答)



施設種	選択した回答	選択した理由
市立幼稚園	一校一園制を続ける	「別府市就学前の子どもに関する教育等協議会」の報告にもあるように、園児数を考えると適正配置はやむを得ないことは理解している。市の情勢や職員が抱える仕事量などを考えると再編も視野にいれる必要がある。
		小学校に併設された幼稚園には多くの利点がある。(連携・交流が密に行える、地域とのつながり、環境の変化が少ない、友達関係の継続等)
		保護者もきょうだいで通えることや、幼小のつながりを期待して選択していると思う。
		公教育施設としての役割を果たすような配置にし、残った公立幼稚園が存続し続けられるようにしてほしい。
私立幼稚園・認定こども園	再編をした方がよい/ 小学校に併設されていなくてもよい	私立施設を活用したほうが良い。
保育所(園)	一校一園制を続ける	小学校に併設されていないければ登園降園時保護者の送迎が必要になり、就労している家庭には負担が増える。
		小学校にあがる一年間は幼稚園で小学校生活を学ぶ大切な時間だから。
		登校の練習になる。
	小学校に併設されていなくてもよい	一校一園制は別府市の特色であるが、市立幼稚園の適正配置について未来志向の検討が必要とされているから。
		認定こども園も視野に入れたいが、小学校に併設された幼稚園が多いと需要的にどうなのか。
		就学する小学校に体験に行くことが難しい。保護者を誘っても、仕事で忙しく対応が難しい現状がある。
	再編をした方がよい	保護者は保育所を卒園するか、就学児まで保育所に残るか悩んでいる。仕事を辞めたり、職場の変更をしたり等している。保護者が悩まなくても良いシステムを作ってほしい。
		本来仕事をしている家庭は、5歳児まで保育園にいるべきであると思う。しかし、保育園側には5歳児を全員受け入れることが、保育士の確保、施設の広さなどの理由で難しいという問題がある。
		市立幼稚園の在り方を見直すとともに別府市における認定こども園化を考えていく必要があると思うが、幼稚園は幼稚園で必要とも思うのでバランスが重要。
		就学後の変化による心理的負担は大きく軽減されると思うが、少子化が進み、保護者の多くが就労している状況を鑑みると、現状のままでは難しいと思う。市立幼稚園入学前までに多くの子どもが保育園や幼稚園に所属しており、一年だけのために準備品も含めて幼稚園に通うことへの負担が保護者には大きい。
		東山幼稚園は必要。他の園は開園時間など、何か特化したことがないといけない。

施設種	選択した回答	選択した理由
保育所(園)	選択なし	小学校との連携が取れることはメリットがあるが、通所していない他施設の子も達との連携の差がありすぎる。年に1度の交流を複数回全ての就学前の子もたちとの連携が取れるとよい。連携を図るための人員が必要となる。
		保育所では5歳児で保育園に残る子どもが少ない。市立幼稚園の夏休みの預かり保育が、弁当持参であるが、給食を実施してほしい。
認可外保育施設	一校一園制を続ける	別府の文化のようで、保護者も望んでいる。 小学校との連携がとりやすいため。
	小学校に併設されていなくてもよい	保護者の働き方によっては、幼稚園に上がるタイミングでいろいろと考えなければならないことが出てくる。
	再編をした方がよい	個を伸ばす保育や教育を保護者が選択できたほうが良い。

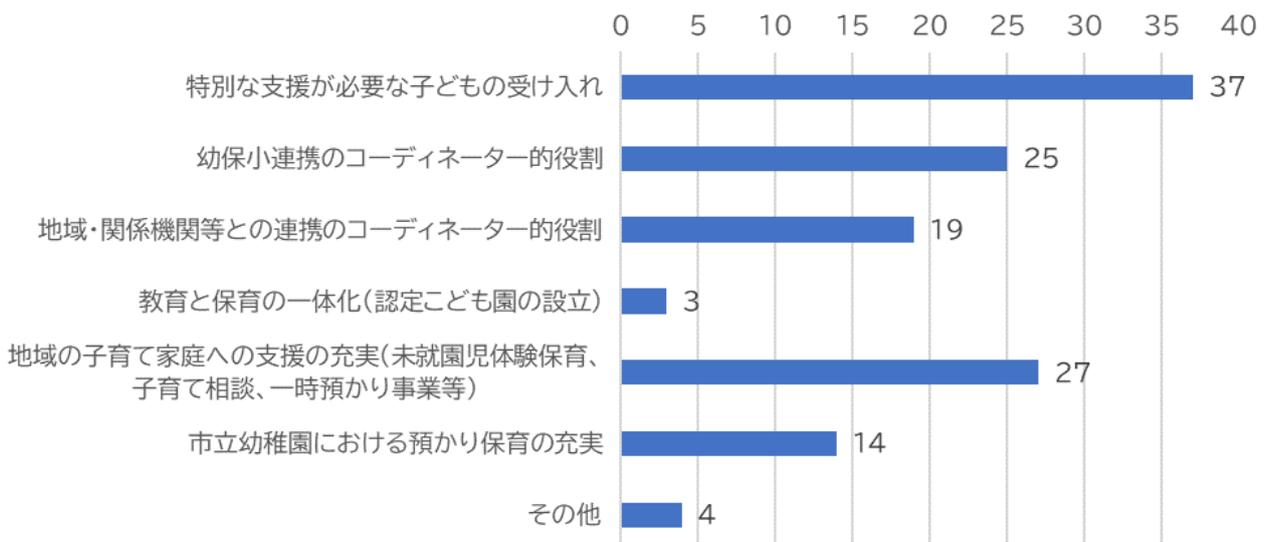
(3) - 2 今後の別府市立幼稚園についてよいと考える保育年限(単数回答)



施設種	選択した回答	理由
市立幼稚園	2年保育(4歳～5歳児)	4歳児から5歳児へ、育ちをつないで見ていくことができるので、今よりも深く子ども育てができるのではないかと思うため。
	3年保育(3歳～5歳児)	異年齢での育ち合い、保護者との信頼関係づくり、特別な支援が必要な子どもの実態把握と保護者や関係機関との継続的な関係づくりを踏まえ、3年保育が望ましい。
		保護者のニーズを考えた時には、3年保育をすることが望ましい。 先生との関係から、少しずつ自立していき友達との関係の中で育っていくには、3年の課程が必要だと感じている。
私立幼稚園・認定こども園	1年保育(5歳児のみ)	私立施設としては不利と感じる。私立施設を活用するとよい。 4, 5歳児の1年の違いはとても大きい。この一年間を大事に4歳はたくさん遊び5歳はたくさんの体験をするので1年保育が良い。
保育所	回答なし	職員不足の状況の中で職員の争奪戦に拍車がかからなければと危惧している。 総合的に考え、「よい」「してもよい」との選択肢が選べない。

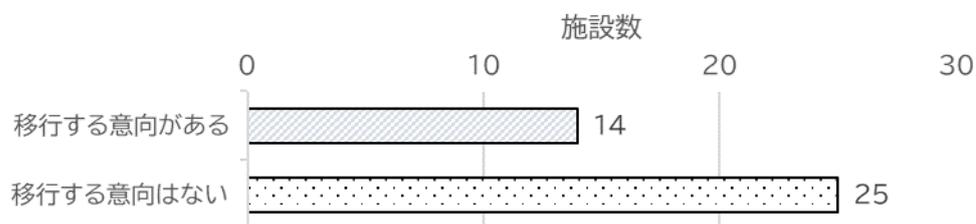
施設種	選択した回答	理由
保育所(園)	1年保育 (5歳児のみ)	子どもや保護者のことを考えると、3年保育した方が良いと思うが、そうなると保育所の3・4・5歳児の需要がなくなると思われるので、私立施設を考慮してほしい。
		感性豊かに保育園で4歳までは育ち、異年齢でも過ごしている。5歳児からは育ちに合った環境でごっこ遊びや絵本の世界で伸び伸びと遊んでほしい。
		保育園でも保育はできると考える。
	2年保育 (4歳～5歳児)	4歳になると保育環境と友達との関わりが大切だと思う。
	3年保育 (3歳～5歳児)	多くの幼稚園が満3歳児入園であり、また、友人関係が活発になる年齢である。
認可外保育施設	1年保育 (5歳児のみ)	複数年保育になり市立幼稚園に転園した方が良いと考えられる場合、今以上に保護者の働き方に制限が出てきてしまうと思われる。
		子どもの発達や成長の段階をより把握するためにも2年は必要と考える。3歳児では幼稚園教育より保育を優先した方がよい子どももいる。
	3年保育 (3歳～5歳児)	1年保育だと他の幼稚園から転園する子どもは少ないのではないかとと思われるから。
		保護者が3年間のうちに小学校との連携を図ることができ、園児も徐々に慣れていける。
		3年保育で見守り、個々の育ちについて連携や情報をつなげていきやすい環境がよい
		集団の環境に慣れ、3年間を通して関わることで、心身共に大きな成長がみられると期待できるから。

#### (4) 公立施設(幼稚園や保育所)に期待する役割(3つまで回答可)

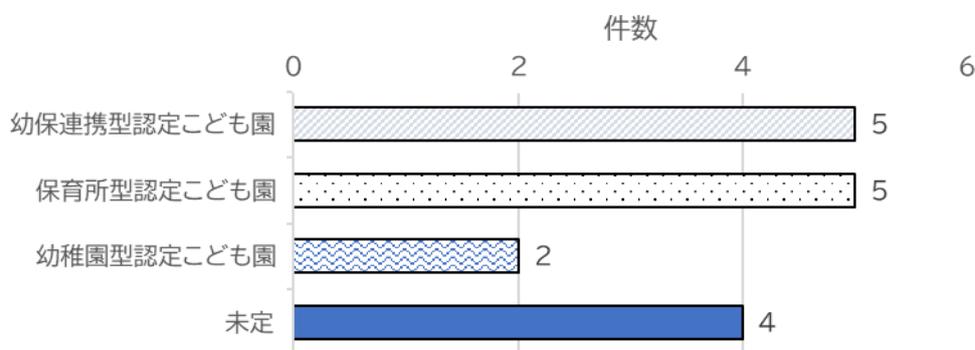


その他の理由
市立幼稚園の役割が今より大きくなると、私立施設の運営が困難になる。
民間に移行した方が良い。
夏休みの預かり保育の保護者負担の軽減
土曜、休日保育などの特別保育

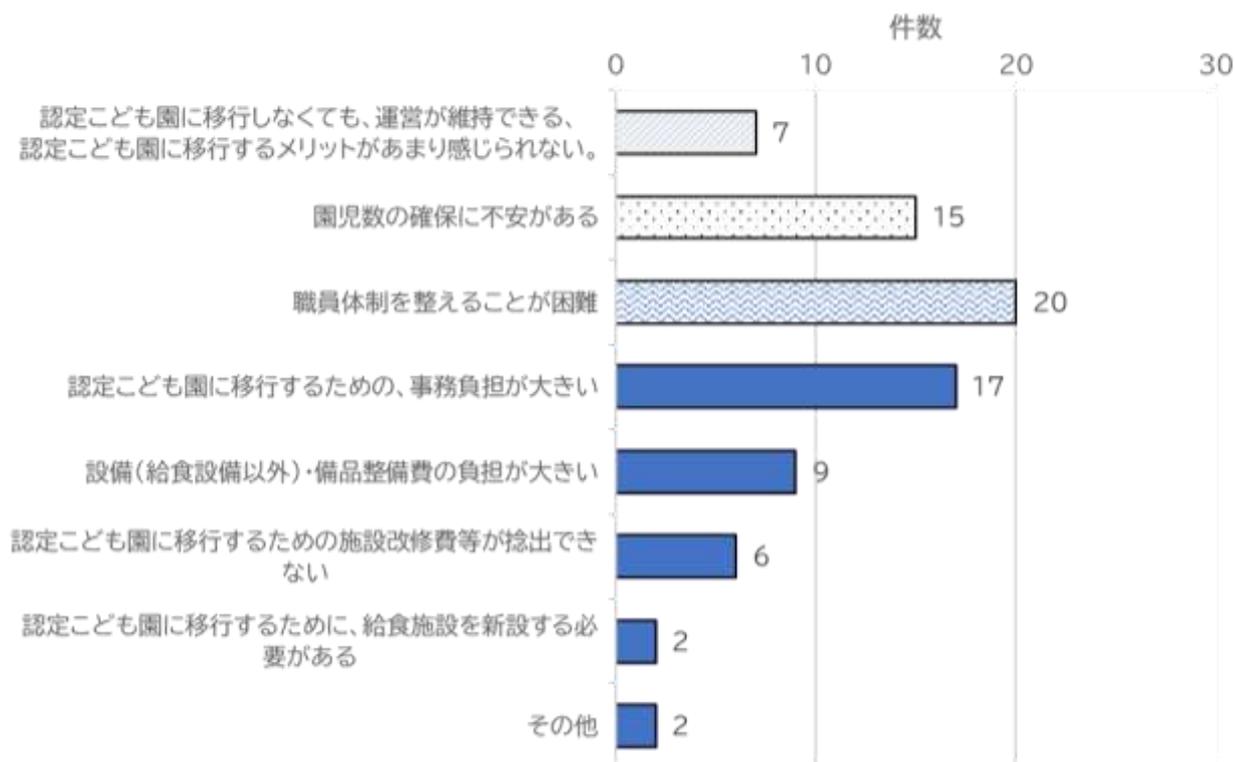
(5)－1 認定こども園に移行する意向について(私立施設のみ・単数回答)



(5)－2 移行を希望する類型 (認定こども園に移行する意向のある私立施設のみ・単数回答)



(5)－3 認定こども園に移行する際の課題や不安(私立施設のみ・あてはまるものを全てを回答可)



その他の理由
建物基準について
保育内容の変化について
1号認定の対応について

(5)－4 認定こども園に移行する際にどのような補助があれば移行しやすいか(私立施設のみ)

自由記述
様々な事が不安で困難に感じる。
人件費、保育単価の現状がどこまで、いつまで保証されるかが不安。
人員が確実に確保できるのであれば、認定こども園に移行しやすい。職員の配置人数の改善。
1号認定が確保できるかは市立幼稚園があり確保できるかが不安。一号認定に変わらない保護者もいると聞くので不安。
園児確保の補助
施設整備の補助
施設新設・改修費の補助(建て替えや新築の必要がある)
土地の永久的な無償貸与
認定に至る事務の簡略化
申請書類の作成について、認定こども園についての説明会の実施。
認定こども園に移行するにあたり、サポートスタッフのような方がいると取り組みやすい。
移行前に運営シミュレーション等のメリット・デメリットをアドバイスしてほしい。
協議会や連絡会等を立ち上げによる、情報の共有化をしてほしい。
保育士の確保・職員体制の補助(人材確保のPRを市も行う、保育のお仕事フェアなどの開催、就職時の臨時手当・独自の公的補助等)
時給単価など高い他市に行ってしまう保育士資格者が多いので、別府移住の制度がもっとあれば良い。
教員免許更新制度廃止後の手続きについて、知りたい。認定こども園移行後も継続して勤務できるような特例措置があれば知りたい。
未満児の保育を研修する場や話し合える場を設ける。
質的向上を図る研修等の実施。
市立幼稚園の今後の運営方針を知りたい。

### 3 別府市の就学前教育・保育施策に対するご意見・ご要望

施設種	自由記述
市立幼稚園	中学校区に1園存続、複数年保育の導入、預かり保育の充実、特別支援教育の充実等をしてほしい。長期的な視野に立った人員配置をしてほしい。
	市立幼稚園の施設整備をしてほしい。
	常に子どもをまんなかに据え、どういう幼児教育がふさわしいかを考えていくべきである。
	別府市の就学前教育・保育施設が、それぞれの特色をいかしながら、連携・協力し合っって子どもたちに質の高い就学前教育を保障していく必要がある。各施設が、十分にそれぞれの特色を発揮できるような体制を整えてほしい。
	子どもたちに、よりよい保育を提供する為に、保育者の質の向上が大切。
私立幼稚園・認定こども園	別府市並びに別府市教育委員会における、今後の市立幼稚園の施策について、情報提供をしてほしい。
	保育園や幼稚園すべての施設の教員に同様な研修の場、話し合う場を設け、困り等を話す機会が必要。別府市の子どもをみんなで話すことが必要。
保育所(園)	現保育所施設では、現在4・5歳児混合クラスで運営している。就学前教育と考えると、同年齢での5歳児だけのクラスが望ましいが、保育室等の部屋数もあり難しい現状。
	子育て支援策を更に充実させ子育てしやすい別府市であってほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルスが5類になったとはいえ、現在も職員や園児が感染すると、保育所は大変な状況になる。</li> <li>・小学校や幼稚園に連携連絡しても、あまり積極的ではない。集まる機会やどうしたら連携が進められるかを考えてほしい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮の必要な子どもに対してのさらなる補助金の増額(障害児保育促進事業)</li> <li>・外国籍の子どもを受け入れた際の公的補助金の導入(翻訳機の補助だけでは難しい)</li> <li>・小規模保育所の認可</li> </ul>
	現在の施設設備で認定こども園に移行する上で、問題がないか教えてほしい。何か問題があれば、早めに対処していきたい。
	1校1園を見直し、認定こども園化は賛成ですが、全てに対し人口減少に不安がある。5歳児が少ない保育園が多い別府市が他県と比べ珍しいが、就学前教育をもっと別府市全体で進めて行く必要がある。
	週休3日制の報道や連休の話が出るたびに、保育園に勤務する職員が我が子を預けながら頑張ってくれているのに気持ちが落ち込む姿は切ない。保育園の現状をもっと知ってほしい。
	幼稚園教諭免許の更新をしてない職員がおり、移行に伴う時間の確保が一番の課題。
	幼保小の連携がもっとできれば、就学前の保育が充実してくるのではないかな。
認可外保育施設	子どもの病気の時に預けられる病児保育・病後児保育施設の不足の解消に努めてほしい。
	認可外保育園の第2子以降の助成に関わる保護者の提出書類や手続きの複雑さがあり、仕事をしながらの手続きに時間を取られることを気にしている保護者がいる。書類の内容等を簡素化するなどができれば良い。 別府市は3歳児以降幼稚園に行く子どもが多く、保育所の園児の確保が難しい。

